複数の無人航空機を飛行させる場合は、それぞれの飛行経路や現場体制を表示してください。（飛行範囲図を複数作成していただいても構いません。）

飛行範囲図

|  |  |
| --- | --- |
| ①飛行する経路　　　　　　　　　　　②離着陸地点  　　　③現場責任者　　　　　　　　　　　　④操縦者  　　　⑤監視補助者　　　　　　　　　　　　⑥地上注意喚起補助者 | |
| 都市公園名 | 県民公園太閤山ランド |
| 飛行させる日時 | 令和○年○月○日（○）　○時○分～○時○分 |
| 飛行させる時間 | ○○分間 |

①飛行する経路、②離着陸地点、③現場責任者、④操縦者、⑤監視補助者、⑥地上注意喚起補助者の配置場所をわかりやすく表示してください。

安全確保の方法について記入してください。

（機体の性能、機体に追加する機能、第三者への注意喚起の方法、周囲への周知方法など。）

|  |
| --- |
| ＜安全確保の方法＞  ・プロペラガードを装着する。  ・高性能レーダー搭載の機種を使用する。  ・第三者が30m以内に侵入しないように地上注意喚起補助者が必要に応じて声かけを行う。  ・無人航空機を飛行させていることが第三者にわかるように、腕章をつけて作業を行う。 |